

## 事業所職員向け

## 自己評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」、「どちらでもない」、「いいえ」または「わからない」のどちらかに○を記入するとともに、職員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	1	1	・利用者の動きに合わせた位置や向きを工夫しているが、もう少し広さがあると利用者にも良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2			・1対1で付けられている。 ・看護師が他の職種に比べ多い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	2	1	・テラスがあり入り出しがしやすく自然を感じやすいが、温度調節が難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	3		・処置が必要な場合、個室ではないがつい立てを利用している。 ・必要に応じて隣の建物を利用している。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3		3	・ミーティングがもう少し増えると目標等共有しやすい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		2	・内容を把握し、改善できることは話し合いで行っている。 ・評価表だけではなく、利用時にも保護者の意見を聞いている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		1	・スタッフ全員参加の時間設定が難しいが、不定期にミーティングを行っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	1	3	・外部評価は入っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1			・外部研修を積極的に受けている。
適切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			2	・HP上に公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	7			2	
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2		1	・支援計画の作成にスタッフ全員は携われていないが、出来上がった計画に常勤スタッフで確認修正を行っている。
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		1	・個別支援計画はHUG上でいつでも閲覧できるようになっており、計画が更新された際には確認し共有している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	1	3	・アセスメントツールは用いていないが、児童の心身の状態については職員間で共有している。
	16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	3		3	・具体的な支援内容となるように心がけている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2		2	・活動担当スタッフで会議を行い、活動プログラムの立案を行っている。

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1			・月間スケジュールを作成し、それに基づいて行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		1	・集団活動の他に、機能訓練士や専門的支援スタッフで個別活動を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	4	1	児童指導員が先頭し、その日の活動の指揮をとっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		3	4	2	・話し合いを行い、その日の振り返りをし、子どもの様子等情報共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	5		1	・サービス提供記録にて保護者とその日の様子を共有している。その日の振り返りでは職員間で気づきを共有し支援に繋げている。
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		1	2	・半年に一度行っている。
	24	児童発達支援ガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	1		4	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			4	・担当者会議には可能な限り参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			4	・必要に応じて関係機関とは連携を図っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			2	・学校とは送迎時に児童の様子を共有している。
	29	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	1	5	・移行を予定している児童について、情報共有と相互理解に努めている。
	30	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		1	・就学移行の際は学校の先生が訪問して児童のケア内容等を共有し相互理解に努めている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	1	3	・専門機関と連携して研修を実施している。
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			1	・送迎時に話をして情報共有できるようにしている。 ・HUGのサービス提供記録にて児童の状況を共有している。
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	2	4	・送迎時のアドバイス程度で、十分にはできていないため今後の課題と考えている。
	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		4	・契約時もしくはアセスメントの際に行っている。
	35	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			1	・支援計画作成時には面談を行い、こどもや保護者の意向を確認し、計画に反映させている。
	36	「児童発達支援ガイドライン」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	6	1		2	・計画が出来た際にはHUGにて保護者に計画を確認してもらい、訂正等ある場合は伝えてもらっている。
	37	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			2	・悩みや困りごとには丁寧に相談に応じている。

保護者への説明等	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	1	2	・年に1回保護者会を実施している。
	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		1	3	・適宜相談に対応している。
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	3	1	・HUGにて、活動概要、行事予定、連絡事項などを配信しているが、今後HP上でもブログで適宜情報発信する予定
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9				・細心の注意を払っている。
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			1	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	2	2	・隣の財団法人の活動に参加させてもらい、地域の子どもの交流を図っている。
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		3	・HP上に緊急時対応マニュアルの掲載を予定している。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		2	・BCPは作成済み。 ・年間計画に基づいて、定期的に訓練を実施する予定。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1			
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			2	・食物アレルギーのあるこどもは職員が一目でわかるよう個人ファイルの分かりやすい場所に記載している。 ・契約時に医師の指示書を提出してもらっている。
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			4	・年間計画に基づいて、内部研修や訓練を実施する予定。
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	1	3	・年間計画に基づいて、訓練等の取り組み内容をご家族に説明し、内部研修や訓練を実施する予定。
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	3			・ヒヤリハットは記入しているが、情報共有は十分とは言えない部分もあり改善に努めている。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9				・虐待防止の指針は作成済み、定期的に研修を実施している。
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	7			2	・身体拘束防止の指針は作成済み、定期的に研修を実施している。	

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 児童発達支援・放課後等デイサービス あん  
あんの家

対象人数(保護者)10人 回答者数 6人 回収 60%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	4	1		1		室内の他にテラスなどを活用してスペースを広く利用できるようにしています。
	②	6					基準以上に職員を配置しています
	③	5	1				
	④	5	1				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			1		
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	6					
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1	1	4		併設している公益財団法人の体験活動事業に参加し、地域の子ども達との関りを持っています

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4				2	今後家族支援プログラムについては検討していきたいと思います
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5				1	
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	6					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1			3	年1回の保護者会等を利用して交流の機会を設けたいと考えています
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				1	
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4				2	療育システムによるご報告の他にHP上でもブログの配信を考えています
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1		3		各マニュアルの概要を保護者会等で改めてご説明させていただきます。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			4		年3回実施しています
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1		保護者会等で年間の安全計画についてご説明させていただきます
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1		1	先日ご連絡があった内容が具体的でなかったため、どのような訓練中にどのように事故が起き、どこを怪我してしまった等、詳細が知りたかったです。自分の子供も行っている訓練なのか、心配になりました。	事故等が発生した場合には速やかにご報告するよう努めてまいります。また不安なことがございましたらいつでもご連絡ください。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	6					
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	6					

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をやるのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画(個別支援計画)」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 児童発達支援・放課後等デイサービス あんあんの家

対象人数(保護者)16人 回答者数 10人 回収 62.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	3		1		テラスなどを活用してスペースを広く利用できるように工夫しています
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		1		基準以上に職員を配置しています
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	8	1		1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	10					
	⑥	事業所が公表している支援 プログラム(※2)は、事業所の 提供する支援内容と合ってい ると思いますか。	8			2		
	⑦	こどものことを十分に理解し、 こどもと保護者のニーズや課 題が客観的に分析された上で、 放課後等デイサービス計画(個 別支援計画)(※3)が作成され ていると思いますか。	10					
	⑧	放課後等デイサービス計画に は、放課後等デイサービスガイ ドラインの「放課後等デイサー ビスの提供すべき支援」の「本 人支援」、「家族支援」、「 移行支援」で示す支援内容から こどもの支援に必要な項目が 適切に設定され、その上で、 具体的な支援内容が設定され ていると思いますか。	8			2		
	⑨	放課後等デイサービス計画に 沿った支援が行われていると 思いますか。	10					
	⑩	事業所の活動プログラム(※4) が固定化されないよう工夫さ れていると思いますか。	10					
	⑪	放課後児童クラブや児童館と の交流や、地域の他のこども と活動する機会がありますか。		3	3	4		併設している公益財団の体験活動事業などに参加し地域の子ども達との交流をもっています

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	3	2	3		家族支援プログラムについては今後検討してまいります
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	10					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		1			
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	10					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	2	3	兄弟同士の交流についてはわからない。	年1回開催の保護者会等を活用して交流の機会を設けています。イベントなどでご兄弟が参加できるものを行い、交流を持つ機会を設けています。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1				
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			1	1	一度だけない事があった。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	3		4		各マニュアルの概要を保護者会等で改めてご説明させていただきます
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	2		5		年3回実施しています
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	6	2		2		保護者会等で年間の安全計画についてご説明させていただきます
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	7	3				事故等が発生した場合には速やかにご報告するよう努めてまいります
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	1				
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	1		2		
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	10					

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。